

(令和5年度)

決算特集号

けっさんとくしゅうごう

令和5年度決算が市議会第3回定例会で認定されました。

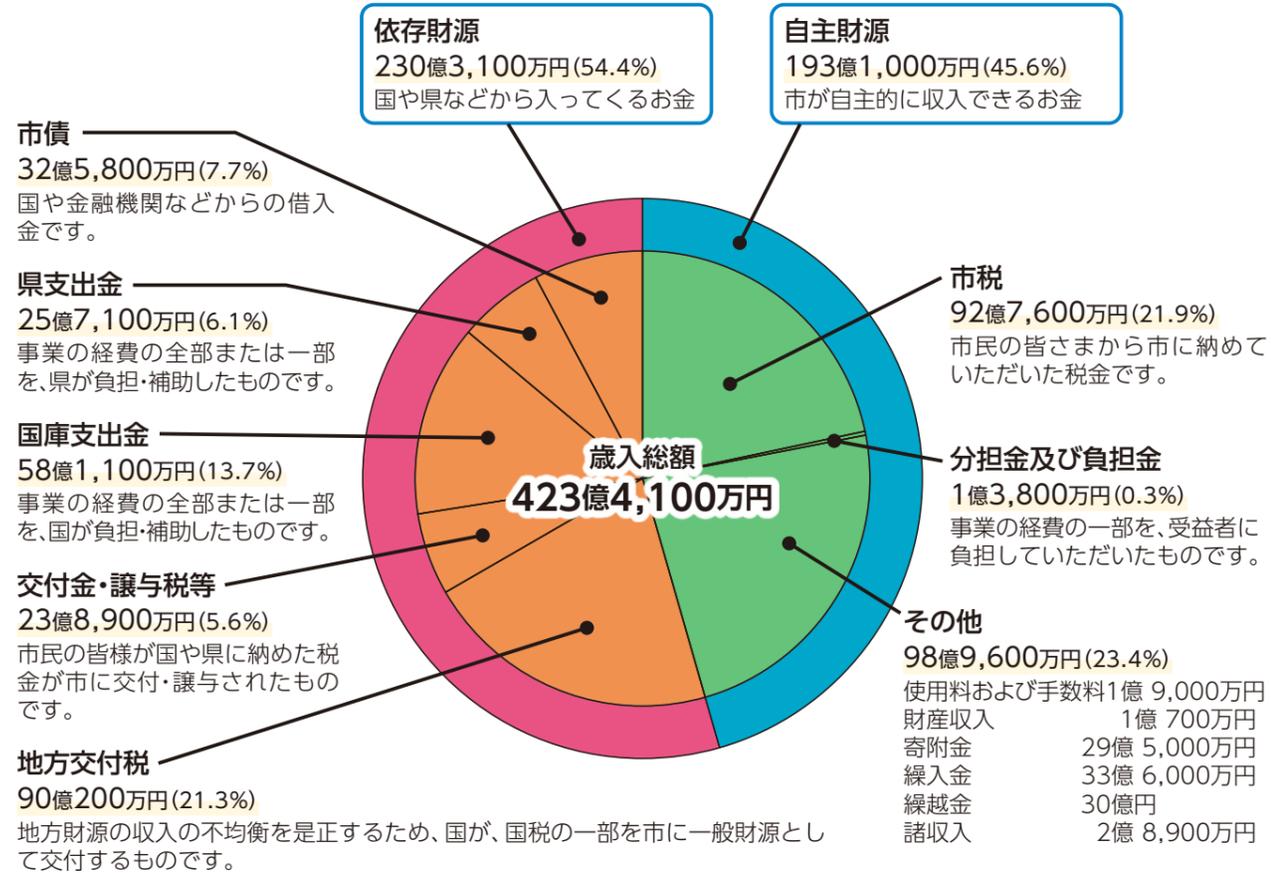
一般会計の決算を中心に、

笛吹市の決算概要を紹介します。



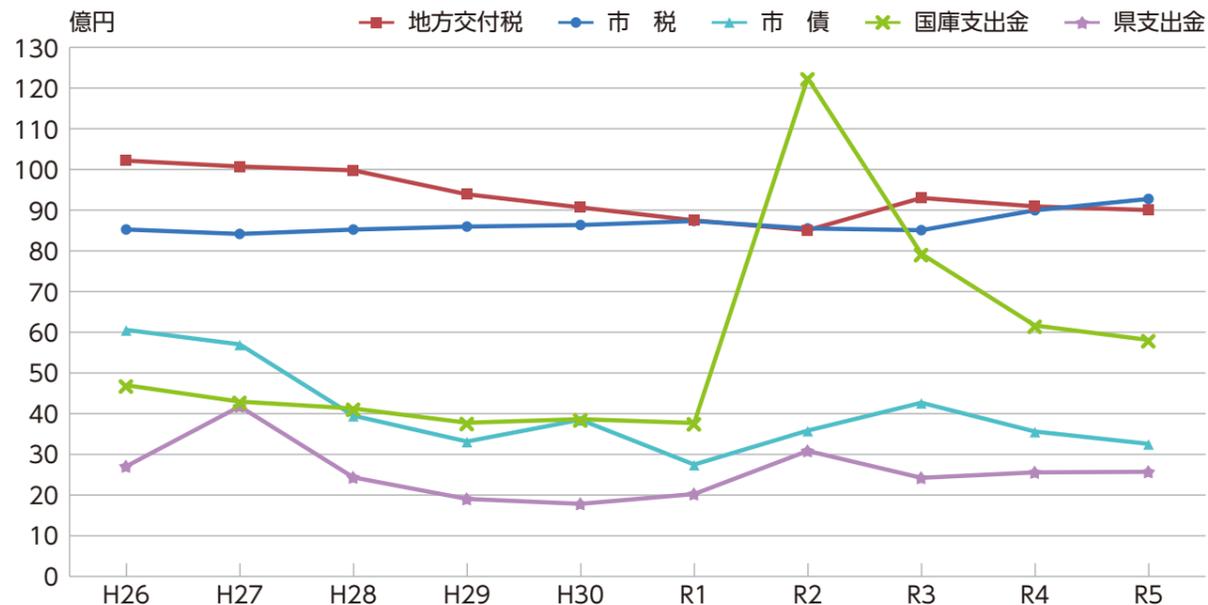
広報ふえふき
Fuefuki

一般会計 歳入の内容



一般会計 主な歳入科目決算額の推移

自主財源の根幹である市税については、令和4年度と比較し2億8,000万円増加しました。また、地方交付税については、自主財源の増加により普通交付税が令和4年度と比較し1億1,300万円減少しましたが、特別交付税が2,300万円増加しました。国庫支出金については、物価高騰による補助金が減少したため、令和4年度と比較し3億5,500万円減少しました。



令和5年度 決算概要

令和5年度決算が、市議会第3回定例会で審議され、認定されました。ここでは、市民の皆様から納めていただいた税金がどのように使われ、また、市の財政が今どのような状況にあるのかをお知らせします。

市の財政状況について

基金は36億6,690万円増、市債は151億6,234万円減

限られた財源の中、徹底した事務事業の見直しによる経費の削減や、国および県の補助金ならびに有利な交付税措置のある市債の活用など財源確保の努力を徹底したことで、市の財政状況はさらに健全な状態にあります。

基金残高

基金(預貯金)については、ふるさと納税寄附金額が高い水準で推移していることなどに伴い、平成28年度決算では164億9,786万円だったものが、**36億6,690万円増額**させることができ、令和5年度決算では201億6,476万円となりました。基金残高を市民一人あたりに換算すると約30万円になります。

市債残高

市債(借入金)については、必要な公共施設およびインフラ整備を行うときに発行しますが、事業の優先度を見極め積極的に国や県の補助金などを活用し取り組んだことで、市債の発行抑制が図られ、平成28年度決算では690億195万円だったものが、**151億6,234万円減少**させることができ、令和5年度決算では538億3,961万円となりました。市債残高を市民一人あたりに換算すると約80万円になります。

一般会計 基金(預貯金)現在高の状況

基金名	平成28年度末	令和5年度末	増減額
財政調整基金	39億3,912万円	37億3,207万円	△2億705万円
特定目的基金			
減債基金	17億8,959万円	14億8,058万円	△3億901万円
公共施設整備等基金	35億7,003万円	29億9,482万円	△5億7,521万円
地域振興基金	48億8,395万円	50億6,463万円	1億8,068万円
まちづくり基金	2億3,700万円	47億3,730万円	45億30万円
その他	20億7,817万円	21億5,536万円	7,719万円
基金現在高	164億9,786万円	201億6,476万円	36億6,690万円

基金とは、家計で言うところの預貯金のことです。財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するとともに、予期しない収入の減少や支出の増加に備えるための基金です。特定目的基金は、特定の目的に使用するため資金を積み立て、必要に応じて取り崩しを行う基金です。令和5年度は、33億1,013万円を取り崩しましたが、38億1,533万円を積み立てたため、5億520万円増加しました。

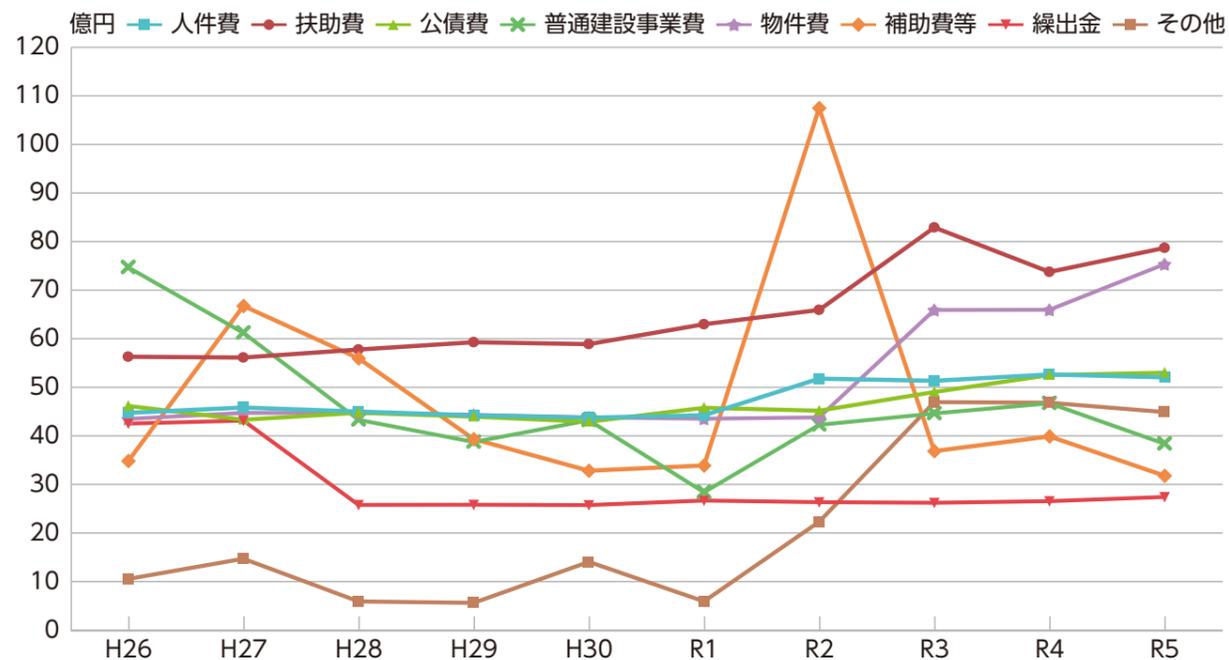
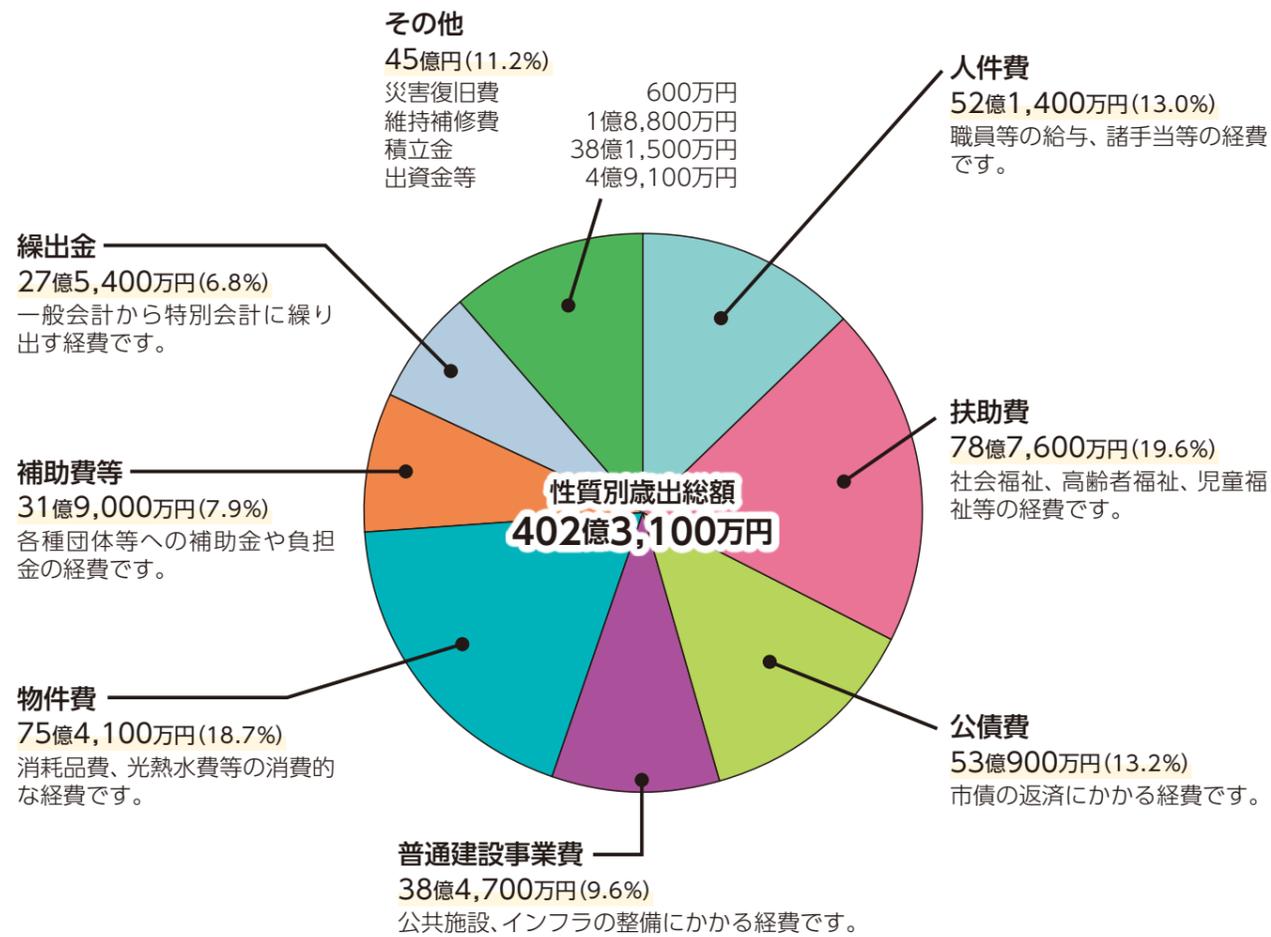
市全体 市債(借入金)現在高の状況

会計名	平成28年度末	令和5年度末	増減額
一般会計	437億3,430万円	364億8,154万円	△72億5,276万円
うち合併特例債	200億994万円	158億8,304万円	△41億2,690万円
うち臨時財政対策債	159億9,642万円	121億5,159万円	△38億4,483万円
公営企業会計等	252億6,765万円	173億5,807万円	△79億958万円
上水道・簡易水道	87億6,171万円	70億5,171万円	△17億1,000万円
下水道	162億1,989万円	101億8,345万円	△60億3,644万円
農業集落排水	2億8,605万円	1億2,291万円	△1億6,314万円
市債現在高合計	690億195万円	538億3,961万円	△151億6,234万円

市債には、公共施設およびインフラの整備に当たって、資金の借入をすることにより、後年度の償還を通じて、将来その施設等を利用する人にも、建設費用を公平に負担していただくという、世代間の負担の公平性を保つ役割があります。令和5年度の現在高は538億3,961万円で、昨年度に引き続き減少しました。

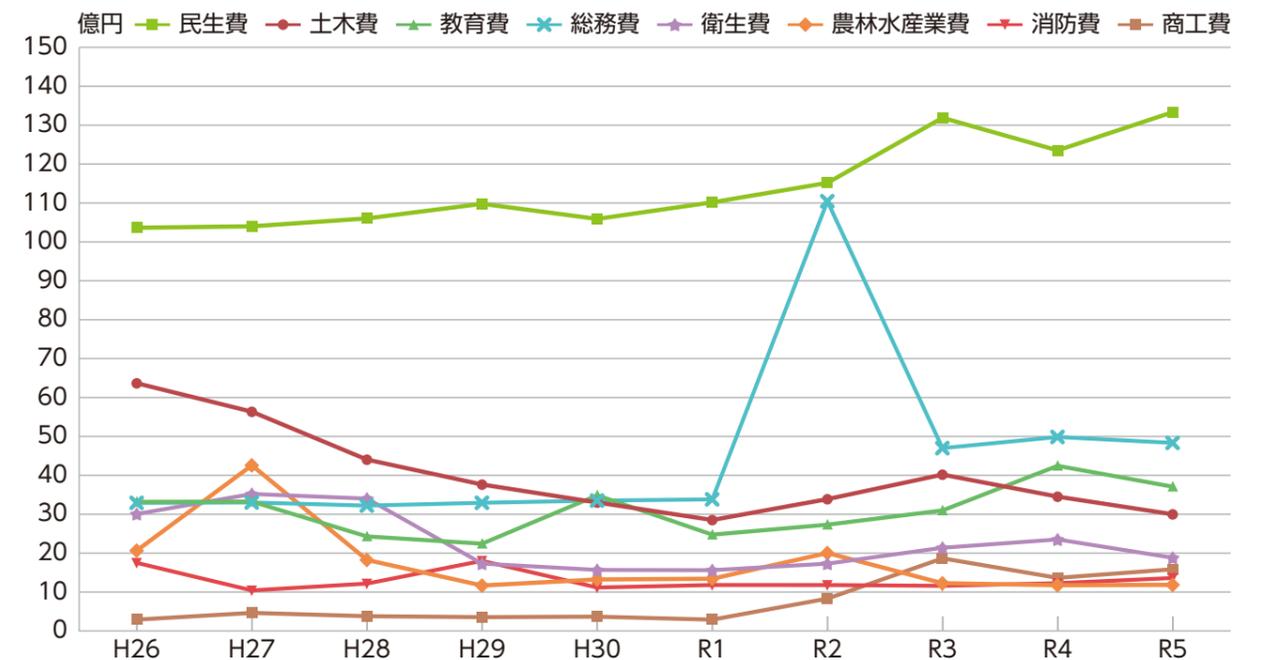
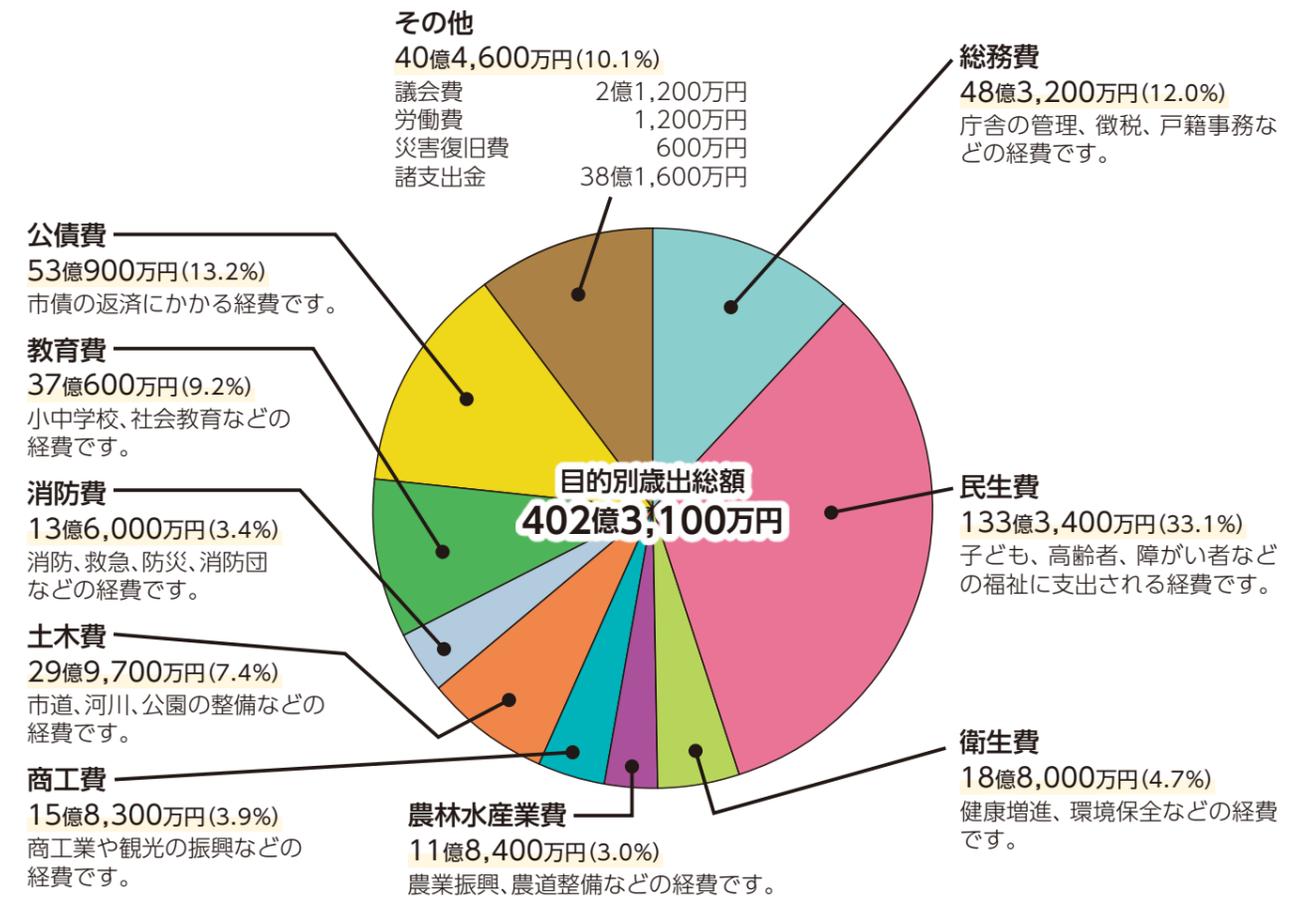
一般会計 歳出の内容(性質別)

性質別歳出とは、経費の経済的性質に着目した歳出の分類で、年度別の比較や他の自治体との比較、分析によく用いられます。



一般会計 歳出の内容(目的別)

歳出を目的別にみると、最も高額となったのは民生費133億3,400万円で、昨年度より9億8,200円増加しました。また、商工費は、笛吹市消費喚起キャンペーン事業等を実施し、2億2,000万円の増額となりました。歳出総額は402億3,100万円となり、市民一人あたりに換算すると約60万円になります。



令和5年度 公営企業会計の決算状況

令和5年度の公営企業会計の決算状況について、市民の皆さまが使用して納めていただいた水道料金、下水道料金などがどのように使われ、また、各会計が今どのような状況にあるかをお知らせします。

水道事業会計

収益的収入および支出				資本的収入および支出			
収入		支出		収入		支出	
営業収益	13億2,683万円	営業費用	15億738万円	企業債	3億480万円	建設改良費	4億7,394万円
営業外収益	5億1,667万円	営業外費用	1億2,565万円	出資金	7,475万円	企業債償還金	4億6,548万円
特別利益	876万円	特別損失	144万円	負担金	9,159万円		
収入合計	18億5,226万円	支出合計	16億3,447万円	収入合計	4億7,114万円	支出合計	9億3,942万円

春日居地区温泉給湯事業会計

収益的収入および支出				資本的収入および支出			
収入		支出		収入		支出	
営業収益	5,952万円	営業費用	5,329万円	固定資産売却代金	116万円	支出なし	
営業外収益	1,179万円	営業外費用	233万円				
特別利益	40万円						
収入合計	7,171万円	支出合計	5,562万円	収入合計	116万円	支出合計	0万円

公共下水道事業会計

収益的収入および支出				資本的収入および支出			
収入		支出		収入		支出	
営業収益	7億193万円	営業費用	16億1,748万円	企業債	3億830万円	建設改良費	3億4,873万円
営業外収益	11億7,844万円	営業外費用	1億8,508万円	出資金	4億1,440万円	企業債償還金	11億6,774万円
特別利益	617万円	特別損失	250万円	負担金	6,315万円		
				補助金	5,191万円		
収入合計	18億8,654万円	支出合計	18億506万円	収入合計	8億3,776万円	支出合計	15億1,647万円

簡易水道事業会計

収益的収入および支出				資本的収入および支出			
収入		支出		収入		支出	
営業収益	338万円	営業費用	2,002万円	企業債	400万円	建設改良費	531万円
営業外収益	2,233万円	営業外費用	11万円	出資金	96万円	企業債償還金	192万円
		特別損失	1万円	補助金	2万円		
収入合計	2,571万円	支出合計	2,014万円	収入合計	498万円	支出合計	723万円

資本的収入が支出に不足する額は、補てん財源などで措置しました。
 収益的収入および支出…各事業を運営していくための施設の維持管理や人件費等の会計
 資本的収入および支出…資本を形成するための工事や大型備品などの更新のための会計

財政の健全度を判断する指標を公表します

財政健全化判断比率とは、財政健全化法により算定・公表が義務付けられている、市町村の財政が健全かどうかを判断する指標です。主な指標としては、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標があります。

指標	算定結果 ()内は前年度数値	早期健全化 基準	比率の説明
実質赤字比率	— (—)	12.52%	一般会計は黒字となっていますので、数値は表記されませんでした。
連結実質赤字比率	— (—)	17.52%	一般会計、特別会計及び公営企業会計の赤字額や黒字額を合算して、市全体の赤字の程度を指標化し、財政運営の健康度を示す比率です。
実質公債費比率	7.5% (7.5%)	25.0%	標準財政規模に対する負債返済の割合が7.5%となり、前年度と同様の数値となりました。
将来負担比率	— (—)	350.0%	将来負担額から充当可能財源等を引いた「将来負担すべき実質的な債務」は、数値がマイナスとなることから、前年度同様、将来負担比率の数値は表記されませんでした。

笛吹市の財政健全度

実質公債費比率および将来負担比率は、両指標とも前年度と比較し、同様の数値となりました。将来負担比率については、合併特例債や臨時財政対策債の償還が進んだことにより、指標の数値は表記されませんでした。各指標とも早期健全化基準を大きく下回っているため、健全な財政状態が維持されていることが判断できます。

特別会計の決算状況

特別会計	収入済額	支出済額
国民健康保険特別会計	83億8,400万円	83億3,500万円
介護保険特別会計	74億4,700万円	71億3,900万円
後期高齢者医療特別会計	18億300万円	17億8,700万円
農業集落排水特別会計	8,500万円	3,800万円
境川観光交流センター特別会計	8,100万円	6,500万円
森林経営管理特別会計	3,400万円	3,200万円
恩賜県有財産保護財産区 管理会(9特別会計合計)	7,200万円	400万円
特別会計合計	179億600万円	174億円

AIデマンド交通事業

3,967万円

AIデマンド交通「のーと笛吹」の実証運行開始しました！

市内公共交通を再編するため、一部地域（御坂町西部、八代町、芦川町、石和町等の一部）で、AIデマンド交通「のーと笛吹」の実証運行を開始しました。



窓口業務DX事業

4,821万円

書かない窓口を導入しました！

コンビニ交付サービスの対象に戸籍証明書を追加しました。また、戸籍住民課窓口において、「書かない窓口」システムを導入し、証明書申請時に記載する量の軽減を行いました。



新道峠展望台環境整備事業

1億2,979万円

観光交流拠点施設「リリーベルヒュッテ」を整備しました！

すずらん群生地駐車場にカフェや観光案内所の機能を有したバスの発着所となる「リリーベルヒュッテ」をオープンし、訪れる観光客の利便性の向上と更なる誘客につなげるための環境整備や「FUJIYAMAツインテラス」のPRを行いました。



都市公園施設長寿命化事業

1億2,406万円

八代ふるさと公園に大型複合遊具を整備しました！

安全かつ快適に公園を利用してもらうため、老朽化が進んでいた八代ふるさと公園の遊具をリニューアルし、大型複合遊具を整備しました。



御坂生涯学習センター整備事業

2億848万円

御坂福祉センターを御坂生涯学習センターとして整備しました！

御坂農村環境改善センターを解体し、その社会教育施設としての機能を移転するため、御坂福祉センターを御坂生涯学習センターとして整備しました。

